



こだま

久万高原町立直瀬小学校

TEL 0892-31-0040

FAX 0892-31-0162

久万高原町直瀬 3974-3

輝け！直瀬の子どもたち

校長

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことにより、様々な行事や活動を、コロナ禍前に戻したり見直したりしながら行った1年間となりました。

その中で印象に残っている行事の一つが、e a t(愛媛朝日テレビ)でニュース番組づくりの体験をした見学遠足です。体験では、児童一人一人にキャスター・カメラマン・音声・スイッチャーの役割が任せられました。いつもテレビで見ている場所で、テレビで見ている人たちに教えていただいたことで、いい経験として子どもたちの心に残る素敵な行事になったのではないかと感じています。その様子を見ていた私たちまで、子どもたちと同じようにわくわくし、幸せな気持ちになりました。

その見学中に、私自身の長年の願いが叶った出来事がありました。それは、e a tで働かれている矢野勝嗣さんと“会話”できたことです。若い人たちは知らないと思いますが、彼は平成8年の夏の甲子園決勝の「奇跡のバックホーム」の立役者、松山商業の矢野選手です。その奇跡の瞬間をテレビ中継で目の当たりにしたときから、彼は私にとって憧れのスーパーヒーローになりました(私より一回りも若いですが……)。私はその数年後に、ソフトボールの試合で矢野さんのチームと対戦し、彼と会う(見る)ことはできました。そのときの彼の態度はすばらしく、朝グラウンドに来たときの爽やかな挨拶から、試合中の礼儀正しい振る舞い、試合後の心のこもったグラウンド整備まで、全てにおいてパーフェクトで、心の底から魅力的な人だと感じました。あの奇跡は、その人間性がもたらしてくれたのかなあと思うくらいです。今回、初めて彼と“会話”できたことで、「奇跡のバックホーム」の瞬間の感動がよみがえっただけでなく、すばらしい人間性を思い出し、自分の行動・生き方に生かしていきたいなあと、あらためて感じました。

子どもたちは、これからの人生でいろいろな体験や出会いをしていくことなのでしょう。その中で何かを感じたり、心揺さぶられたり、憧れたりする経験をし、自分の夢や目標など目指すことを見つけ、それに向かって真っ直ぐに成長して行ってほしいなあと感じます。無限の可能性をもつ子どもたち一人一人の未来が輝いていくことを心から期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、この1年間大変お世話になりました。これからも、直瀬小学校と直瀬の子どもたちをよろしくお願いたします。

卒業おめでとう！

小学校の思い出や、
将来の夢・目標について

直瀬小学校で生活してきて、たくさんの思い出ができました。その中で、特に心に残ったことは、修学旅行です。〇〇先生と〇〇先生と行きました。修学旅行の間の二日間は、先生達が友達に思えてとても楽しかったです。

直瀬小学校での思い出を胸に、中学校でもがんばります。

6年 O・H



参観日・読書会



2月2日（木）は、今年度最後の参観日でした。また、参観授業に加え、「くまかみしばいおはなし会」ボランティアの方々による「読書会」を開催しました。



大きなかぶのおじいさんとおばあさんとまごと
犬とねことねずみのくびがおれておもしろかった
です。とくにおもしろかったのはねずみです。ね
ずみがふくにひっついておちたので、おもしろか
ったです。

2年 H・K

ぼくが一番面白いと思ったのは、かぐやひめと数
え歌です。かぐやひめは、ストーリーが面白くて映
像を見ているように感じました。数え歌では、数字
で始まるところが面白かったです。

5年 O・T

大きなかぶをきいたのがたのしかったです。犬
やねこやねずみがいっしょにかぶをぬいたのがお
もしろかったです。

2年 O・S



私が読書会で心に残ったのは、「息」という絵
本です。木や花は息をしていないと思っていたけ
れど、人間だけじゃなくて木や花も息をしてく
ると言っていたのでびっくりしました。来年も読書
会が楽しみです。

5年 I・R

盲導犬キャラバン



1月31日（水）、日本盲導犬協会の方を講師にお
迎えして、盲導犬キャラバンが開催されました。盲
導犬の訓練の仕方や役割について学びました。



3月の主な行事

- 3月12日（火） 6年生を送る会
- 3月22日（金） 卒業式
- 3月25日（月） 修了式
- 3月28日（木） 離任式

